

# 東京の森林・林業

令和 5 年版



東京都産業労働局

## 7 森林循環の促進

戦後の拡大造林政策により植えられたスギ林の多くは、その後の木材価格の低迷により更新されずに林齢を重ねている。スギは30年生以上になると多くの花粉を発生するため、近年、スギ花粉による花粉症患者の増加が社会問題となっている。

さらに、東京における林業及び木材産業の実態は、高コスト・低収入であることから、縮小の一途を辿っており、このままではスギ林の更新が進まないばかりか産業としての基盤を損なう恐れがあった。

そこで、平成18年度から10年間の計画で、スギ花粉発生源対策を実施し、スギ林の伐採と新たな木材流通の枠組みを構築することにより、スギ花粉の削減と林業及び木材産業の再生を図ってきた。しかし、花粉を多く飛散する30年生以上のスギ・ヒノキ林は多摩地域に約3万ha存在し、民間による伐採更新は依然として低迷しているとともに、人件費高騰など社会情勢の変化も生じた。このため事業スキームの見直しを図り、平成27年度から新たに10カ年計画で事業実施することにより、森林の循環を促進し、引き続き花粉削減と多摩産材の安定供給を図っていく。

### (1) 東京都花粉症対策本部

東京都の花粉症対策を総合的に推進することを目的として、関係局で構成される「東京都花粉症対策本部」を設置（平成17年11月9日）した。対策本部では、①花粉症発生源対策に関すること、②保健・医療対策に関すること、③その他の花粉症対策に関して必要なことについて、検討を行い、花粉症対策の施策の推進を図っている。平成17年11月14日に東京都花粉症対策本部全体会議（第1回）を開催し、以後、年1回程度開催している。

・令和4年度実績

第19回全体会議 令和4年12月19日 ※オンライン開催

### (2) 主伐事業（樹種更新）

#### ① 事業の概要

将来も林業を継続する森林を対象に、森林循環を促進し、花粉削減及び多摩産材の安定供給を図ることを目的として、スギ・ヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギ等へ更新を行っている。事業は、(公財)東京都農林水産振興財団が、東京都が出えんする基金及び補助金により、森林所有者から立木を購入し、伐採・搬出・木材販売を行い、伐採後、20年間又は30年間の標準的な植栽、保育に必要な経費を全額負担して実施している。

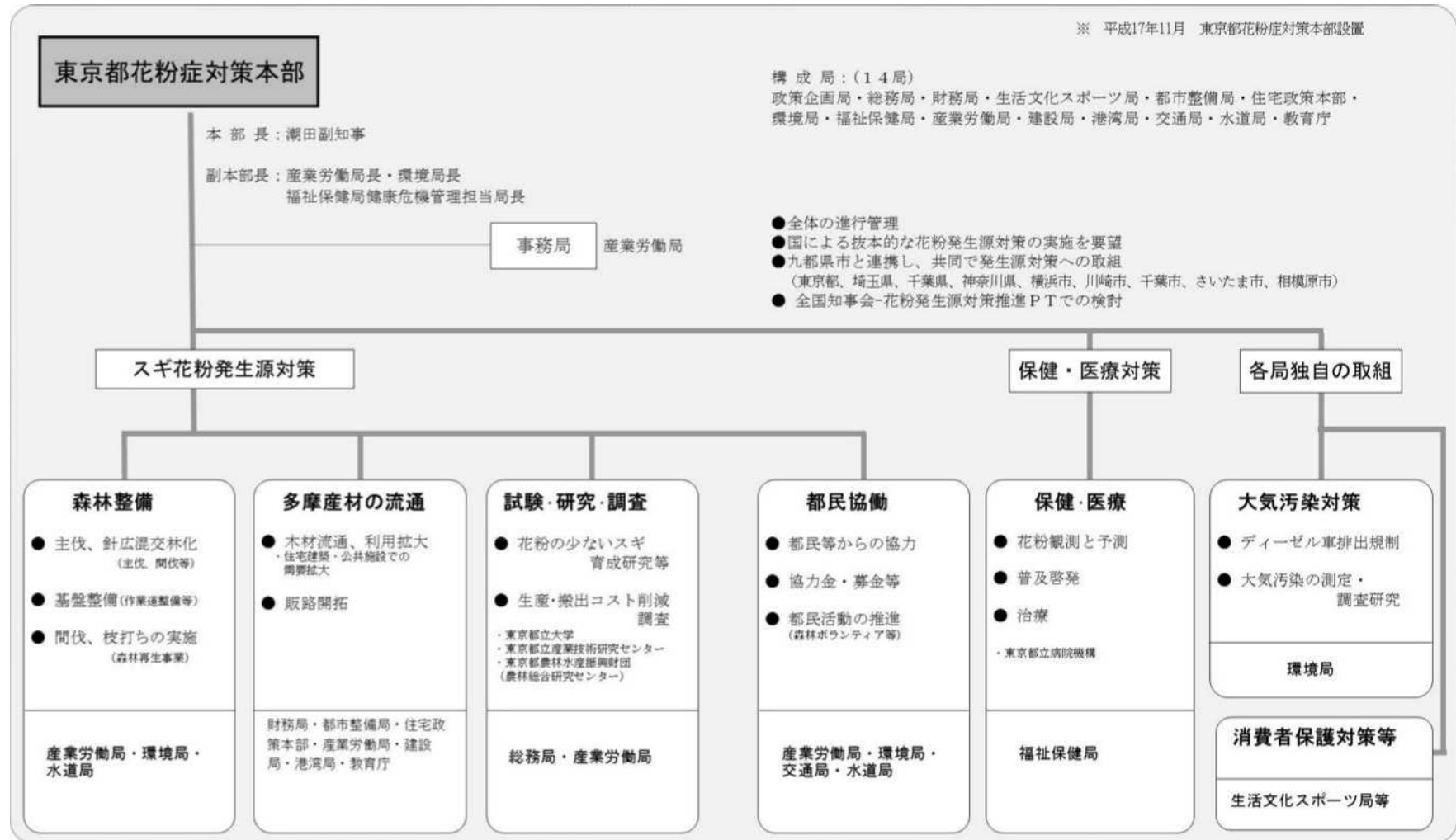
#### ② 立木購入契約実績

(単位： $\times 1000$ 円)

|                          | 奥多摩町   | 青梅市     | 檜原村     | あきる野市  | 日の出町   | 八王子市   | 町田市    | 計       |
|--------------------------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 花粉発生源対策事業<br>H18年度～H26年度 | 19.12  | 170.66  | 179.51  | 93.82  | 22.27  | 143.74 | 7.37   | 636.49  |
| 森林循環促進事業<br>H27年度～R4年度   | 9.55   | 53.19   | 102.47  | 63.23  | 12.15  | 17.66  | 0.00   | 258.25  |
| (うち、R4年度)                | (0.00) | (11.81) | (10.02) | (3.85) | (4.30) | (4.53) | (0.00) | (34.51) |

# 花粉症対策の推進体制

～庁内14局で連携し、総合的に花粉対策を推進～



令和4年12月19日現在

### ③ 伐採及び植栽実績

#### ・スギ花粉発生源対策事業（平成 18 年度～26 年度）（単位：㊦）

| 区 分    | 単位 | 18年度 | 19年度  | 20年度  | 21年度  | 22年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 計      |
|--------|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 伐採完了面積 | ㊦  | 7.14 | 28.29 | 12.11 | 31.05 | 43.19 | 79.77 | 46.43 | 53.10 | 55.49 | 356.57 |
| 植栽面積   | ㊦  | 0.00 | 0.72  | 33.33 | 14.68 | 35.45 | 44.21 | 72.64 | 74.32 | 35.63 | 310.98 |

#### ・森林循環促進事業（平成 27 年度開始）（単位：㊦）

| 区 分    | 単位 | 27年度  | 28年度  | 29年度  | 30年度  | 元年度   | 2年度   | 3年度   | 4年度   | 計      |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 伐採完了面積 | ㊦  | 50.53 | 51.79 | 52.91 | 57.21 | 39.24 | 36.98 | 42.30 | 60.17 | 391.13 |
| 植栽面積   | ㊦  | 25.29 | 49.72 | 35.79 | 55.46 | 39.12 | 38.35 | 52.65 | 36.69 | 333.07 |

### （３）主伐材搬出補助

民間の主伐実施を促進するため、伐採された材の運搬経費の一部を補助している。（公財）東京都農林水産振興財団が基金を原資として実施している。

（単位：㊦）

|      | 単位 | 27年度 | 28年度 | 29年度  | 30年度 | 元年度  | 2年度  | 3年度  | 4年度  | 計     |
|------|----|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 補助面積 | ㊦  | 0.00 | 9.59 | 15.82 | 8.90 | 9.59 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 43.90 |

### （４）色彩豊かな森事業（事業終了）

#### ① 事業の概要

搬出条件が悪いなど林業の継続が困難な森林において、花粉削減と針広混交林化を図ることを目的として、スギ林の小面積伐採と広葉樹の植栽を行った。

事業は、伐採、広葉樹植栽及び更新後 5 年間の下刈に係る経費の全額助成、広葉樹への転換奨励金の交付により実施した。伐採更新は平成 18 年度から平成 23 年度、続く 5 年間の下刈が平成 28 年度で完了し、本事業は終了した。

#### ② 事業実績（※面積は、小面積の実伐採面積）（単位：㊦）

|                           | 奥多摩町 | 青梅市   | 檜原村   | あきる野市 | 日の出町  | 八王子市  | 町田市  | 計      |
|---------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--------|
| 伐採更新<br>(H18年度～<br>H23年度) | 6.03 | 38.16 | 36.13 | 18.70 | 13.87 | 36.63 | 0.09 | 149.61 |

### （５）「花粉の少ない森づくり運動」

#### ① 事業の概要

花粉の少ない森づくり募金をはじめ、都民や企業等から幅広く協力を得るため「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会（※委員名簿は次頁参照）を設置し、都民協働による「花粉の少ない森づくり」を推進している。

#### ② 事業の実績

##### ・花粉の少ない森づくり募金

|            |               |
|------------|---------------|
| H18年度～R2年度 | 505,637,691 円 |
| 令和 3 年度    | 25,676,742 円  |
| 令和 4 年度    | 23,214,866 円  |
| 合計         | 554,529,299 円 |

「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会 委員名簿

令和5年1月23日現在

| 団 体 名               | 職・氏名<br>会長◎ 副会長○   |         |
|---------------------|--------------------|---------|
| 気象予報士               |                    | 村山 貢司   |
| 林業家                 |                    | ◎ 田中 惣次 |
| 林業家                 |                    | 山崎 靖代   |
| 東京農業大学教授            |                    | ○ 山崎 晃司 |
| 一般社団法人 日本経済団体連合会    | 環境エネルギー本部長         | 長谷川 雅巳  |
| 一般社団法人 東京経営者協会      | 常務理事事務局長           | 高橋 弘行   |
| 東京都商工会議所連合会         | むさし府中商工会議所<br>専務理事 | 八木 博道   |
| 東京都中小企業団体中央会        | 専務理事               | 小林 仁志   |
| 一般社団法人 東京工業団体連合会    | 会長                 | 廣瀬 隆博   |
| 東京都商工会連合会           | 専務理事               | 傳田 純    |
| 東京都商店街振興組合連合会       | 理事長                | 桑島 俊彦   |
| 日本労働組合総連合会東京都連合会    | 会長                 | 杉浦 賢次   |
| 特別区長会               | 千代田区長              | 樋口 高顕   |
| 東京都市長会              | 青梅市長               | 浜中 啓一   |
| 東京都町村会              | 檜原村長               | 坂本 義次   |
| 東京都農業協同組合中央会        | 代表理事会長             | 城田 恆良   |
| 一般社団法人 東京都木材団体連合会   | 会長                 | ○ 庄司 良雄 |
| 東京都森林組合             | 代表理事組合長            | ○ 木村 康雄 |
| 特定非営利活動法人 森づくりフォーラム | 理事                 | 久保田 繁男  |
| 公益社団法人 東京都医師会       | 理事                 | 水野 重樹   |
| 東京都合板組合連合会          | 会長                 | 井上 篤博   |
| 東京都町会連合会            | 副会長                | 秋間 利久   |
| 東京都地域住宅生産者協議会       | 顧問                 | 池田 浩和   |
| 一般社団法人 東京都森林協会      | 代表理事会長             | 三谷 清    |

- ・ 企業の森 協定締結 累計 37 団体  
令和4年度 1 団体
- ・ 森づくり支援倶楽部 個人160名、団体21団体  
(令和5年3月31日現在)

### ③ これまでの経過

H18年 4月 「花粉の少ない森づくり運動」開始式  
「花粉の少ない森づくり募金」開始  
9月 「花粉の少ない森づくり運動推進委員会」を設置開催  
10月 企業の森、森づくり支援倶楽部の募集開始  
11月 伐採開始式（青梅市柚木）  
H19年 3月 P A S M O 電子マネーによる募金の開始  
5月 「企業の森」第1号 協定締結  
H20年2 - 3月 花粉飛散時期一斉P R 実施  
11月 「多摩における森林整備に関する  
東京都と東芝グループとの基本協定」締結

「花粉の少ない森づくり運動推進委員会」

平成19年度以降、毎年度1回程度開催  
第17回推進委員会 令和5年1月23日  
※開催方式は対面・オンライン併用

「花粉飛散時期のP R 活動」

平成20年度以降、毎年度実施  
花粉飛散時期のP R 活動実施 令和5年2月～5月

### (6) とうきょう林業サポート隊

森林に対する公益的機能や林業に対する都民の関心の高まりがみられる中、都民のボランティアを募り、多摩地域の森林で植栽や下刈り等の森林作業に携わり、森づくりをサポートする活動を行う。活動をつうじて、森林作業の一翼を担える人材の育成も目指している。平成27年10月より活動を開始した。

- ・ 令和4年度事業実績：活動回数141回
- ・ メンバー登録数：2,029名（令和5年3月31日現在）